

## 2016年度 第1回 常任理事会議事録

日 時：2016年8月23日（火）10:30～

場 所：東京都江東区有明 3-11-1

東京ビックサイト 703 会議室

I. 開会 司会進行：大代専務

II. 会長挨拶(P1 本会の目的/定款より抜粋)一寸先をバラ色にしたい。その為には理事の皆さんがお墓参りという習慣の根ざした暮らしの豊かさを繰り返し発信していくことが大切だと思います。本日の常任理事会の進行は今までとは全く違う進行となっています。素晴らしい常任理事会にしたいとお思います。ご協力をお願いします。

III. 議事

1. 議長選出：白木副会長 議事録作成人：事務局 中村早苗

2. 定足数の確認：理事出席 31名（午後から2名）（36名中）委任状 26名 監事出席 3名（3名中）顧問 2名  
事務局 2名 オフサバー 4名 合計：42名

※資料訂正事項 入退会 退会者は9名ではなく10名に訂正

議事録署名人の指名：正副会長より菊地氏及び監事より望月氏を指名

資料及び議題の確認・新議題の採択 前回議事録の確認

\*議事録確認（メール配信済み）2016年度第1回理事会 2015年度第7回・2016年度第1回正副会長会議

会議の進め方：竹ノ内関連部会長より

5月理事会パルストーク見直す芽より～行動を伴わない批判だけはどうか？

今日のグランドルール：耳を傾け相手の想いに寄り添ってみよう。杵を取り払い新たな気付きを楽しむ。発言は短めに判り易く。

グループトーク：この一カ月であったグッドニュース、今日の常任理事会への期待

### 【審議事項】

(1) 入退会について 入会 6名 退会 10名 大代専務資料 資料 P1

入会：全会一致にて承認

退会：承認

(2) 【総会】事業及び決算報告について 大代専務 資料 P11

長江：午前欠席により大代専務より

大代専務：第7回定時総会無事に終了し来年に結び付けたい。

全会一致にて承認

(3) 【お墓D】第13回検定試験について 湯浅委員長 資料 P17

湯浅：来年1/25開催 協会の重要な事業であると思う。目標の受検者数を達成するために皆さま協力をお願いしたい。

全会一致にて承認

(4) 【お墓D】模擬問題集 2016 について 湯浅委員長 資料 P20

湯浅：10月初旬に販売予定。内容は前年と同様。

全会一致にて承認

(5) 【お墓D】WEB サイト第2フェーズについて 湯浅委員長 資料 P22

湯浅：資格取得者のページを大きくリニューアル。お墓ディレクターロゴをダウンロードできるようにする。資格者の情報公開が事業内容。資格取得者にはより使いやすく、消費者の方には安心を与えることができるサイトにした

い。

佐野：お墓ディレクターサイトはどの位見られているのか？1級取得者の情報とはどのような情報が載るのか？

湯浅：閲覧データは早急に調べる。1級取得者の情報は都道府県のみとなっている。会社名、住所を載せよりよい検索を出来るように変更しよう考えている。

## 2016年度 第1回 常任理事会議事録

佐野：お墓ディレクターがどの位見られているかによって、内容を変えていった方が良いと思う。見られていないページの内容を厚くしてもあまり意味がないのではないかな？

白木：第一フェーズ結果はどうだったか？

湯浅：柔らかいデータに変えた。正確なデータはない。皆さまより前より良くなったと言われている。

柴田：予算書 100 万円やや高額である。今後の見通しとして、今後の毎年の更新料としてどの位の予算をみているのか？

森田：スノウロビン（委託業者）に一括の見積。第一フェーズも同じような予算がかかっている。

福川：意見だが、お墓ディレクターに任せるがもう少し判り易い資料をお願いしたい。

**白票：2名 賛成多数にて承認**

※白票意見

中川：自分が見ない。見る必要がないので。お客様も見るのか？広報を含め、沢山のお金を使う。何か調べるためのデータがほしいと思い白票とした。

菊地：維持管理費等、質問の回答がないので白票とした。

白木：委員長より質問事項の回答をお願いします。

湯浅：活用していただけるよう、ホームページを充実させていこうと思う。

### 【協議事項】

(1) 【墓石】 イベントリスト作成について

佐野部会長

資料 P24

佐野：各石材店が行っているイベントをサイトに掲載。簡易的なサイトにしたいと思う。37 万円でアカウント管理まで出来るサイトを構築できる。石材店にアンケート式で入力してもらい、墓石部会にて確認し UP する。ブラッシュアップし、更により良いものにしたい。7 月正副の意見の回答だが、もう 1 つ HP をつくるのか？現在の HP 上で運営できないのか？とあるが、見積が高額であった。今管理をしている会社に確認したが現状の HP 上に別サイトとして置くことができなかった。実績を積んでからにしてはとの意見があったが、研修委員会の講師リストをデータベースとして載せメンバーだけが見れるようにする。会員向けである。

### -グループにて協議 各グループより-

柴田：イベントを載せるのは広告として利用されてしまう。管理の部分で虚偽の掲示部分は誰が確認するのか？誰が責任をとるのか？掲載料は有料なのか？無償なのか？

佐野：一般ではなく、会員向けなので広告利用はないと思う。他店をみてこのようなことができるという情報を得ることができるサイトである。嘘の情報は一般には関係ないので載せることはないと思う。管理は墓石部会で確認して載せる。無償である。

柴田：正副の意見にもあるが、試験的に紙レベルで集め、どの位情報が集まるのか試験的に行ってからの方が良いと思う。枠に入る物がどのくらいあるのかを調査してからの方が良いと思う。

佐野：墓石部会にて、イベントの件を提供しても良いという意見が多かった。石博のブースのようなものも載せていけばある程度数が集まると思う。一度情報収集を試みたいと思う。

川本：会員のみということだが、協会の HP にイベント情報として出せば出す意味が出てくると思う。一企業の利益となると難しいが、審査して良い情報を出すのであれば少し違うと思う。

佐野：はかまどトピクスで出すのはどうかという意見をもらった。集まったものを見ながら広報委員会と協力したいと思う。

中川：一般の人が知りたいことを墓石部会が行っていった方がよいのでは？

姫田：情報が集まるか心配。小さな石材店の目で運営してもらいたい。イベントを行う余裕があるのか？会員がどの位の web サイトを利用できるのか調べたほうがよい。

佐野：FAXにて送信方法を考えている

**部会にて再度検討し正副に提出**

(2) 【墓石】 お墓のお参りポイント制度構築事業について

佐野部会長

資料 P35

佐野：資料説明。お参りをする事により、ポイントがたまり、寺に行くことにより徳を積むことができる。ビーコンデバイス 3000 円 電池が 2 年間持つ。アプリ製作費 150 万円。アプリ利用会員数×1 千円が月々の費用であるが、これは賛同する会社から回収する。このような仕組みをつくることにより、お墓参りのきっかけをつくる。

これを行うことにより協会の広告となる。

水野：ビーコンはどのように反応するのか？自分のお墓だけか？他人のお墓にも反応するのか？

佐野：最大 5 か所登録できればよいと思う。

柴田：アプリ作成料 150 万円あり、配布の方法はどうするのか？話題づくりにはグーグル等に載せないで話題にならないと思う。グーグル等に載せる費用はこの金額でおさまるのか？霊園、寺の許可の許可ももらわなければならないと思う。迷惑をかけてしまうのでは？GPS の方が経費はかからないのでは？先の展開の費用も考えると費用の桁が変わると思う。

佐野：アプリ開発費は石産協の予算で負担していただき、月額経費は賛同してくれる石材店とすれば、費用的に難しくはないと思う。草の根的に広がってくればよい。自分のお客様をお墓参りにつれていければと思う。マスコミに広がるのは二次的などころだと思う。管理への迷惑とのことだが、ポイントがたまることによって大きなものが買えるわけではないので、そこまではないと思う。GPS は違うところを指すのでプラス程度で GPS をつけることも検討。

柴田：募集したが、余り集まらなかった場合どうするか？

井口功：80 メートル反応するが、いったり来たりした場合その都度反応するのか？

佐野：継続性のことだが、20 件ないと出来ない。ポイント加算は 1 日一回とする。

山口：幕張霊園だったと思うが、が同様のことを行っていた。ヒヤリングしたらどうか？

長江：若い人への手法としては良いかと思う。高齢者向きにコンビニで線香を買うのでは無く、石材店へ来店していた墓石の相談がいくような仕組みになってほしい。アナログだが石産協カードがあれば良いと思う。

専務：マイナスのように聞こえるかと思うが、予算・計画は今年度に上がっていない。金額的にも来年度となっている。次年度でお願いしたい。

佐野：一度意見を聞きたくこのような形で提案をした。墓石部会で検討しながら来年度予算にあげる。

### 墓石部会にて検討

(3) 啓発映画について 会長 資料 P44

射場：映画を作ることが目的ではない。現在急速に進みつつあるお墓離れを如何に阻止するか。お墓の必要性をエンドユーザーに如何にして思ってもらえるか？具体的に制約なしで啓発できるアイデアを出してもらいたい。

グループで次回以降、話を進めていければと思う。

### 【報告・討議・依頼事項】

(1) 【災害対策本部】熊本地震支援について 7/25~27 実施報告 会長 資料 P45

射場：当初 3 日間の予定だったが、わずか 3 時間で終了した。よって他の地域の支援をおこなうことができた。(みなし墓地) 決算も 65 万円以内。

金子：ブローカーのような業者も出てきているようである。まだまだすぐに終わる支援ではないので、依頼があれば、引き続きおこなっていききたいと思う。

川本：橋口氏より今後の墓地の規約に災害時に於いては、園路にある石を移動してもよいという文を墓地規約に追記してほしい。と要望があった。市営霊園では今回勝手に墓石を動かしてトラブルが起きないか市が慎重であった。全国で震災時における石の処理について墓地規約に入れる運動を起こしていきたい。

長江：日本建築学会の大会で熊本の墓地調査に行き、蒲島知事への訪問が叶う。今日の資料を持参し、報告して市役所職員担当課長、知事へ申し上げたいと思う。

(2) 【中四国地区】中国四国地区全体会議について 10/19・20 寺尾地区長 資料 P50

寺尾：石産協通信にて案内を配布したが、申込が少ないので皆さまより周知をお願いしたい。

三野：青木の採石場見学は 15 名定員先着順なので早めに申し込みをお願いしたい。

大川：産地ならではの研修を行いたいと思う。有意義な会議となればと思う。

(3) 【近畿地区】近畿地区全体会議について 11/23・24 水野地区長 資料 P52

水野：ストーンアシストと共催する。近畿地区大会の中で、ストーンアシストの企業 PR がある。翌日は梅林秀行氏にガイドをお願いし、大阪城の石垣ツアーに行く。

井口功：コラボも全体会議の在り方ではないかと思う。

## 2016年度 第1回 常任理事会議事録

- (4) 【採石原石】「東京藝大原石提供 2015」展示会開催報告』 三野部会長 資料 P54  
友常：前年度事業の報告となるが、9/17より台湾にて原石を提供した東京藝大の石彫展が行われる。9/17に現地訪問するので結果はまた報告したいと思う。
- (5) 【墓石】墓石保証サービス制度について 佐野部会長 資料 P55  
損保ジャパン日本興亜 米山氏：墓石保障サービス概要資料説明。震度5弱以内の地震で倒壊した場合の保険制度。協会保証制度なので販売店以外の協会会員の販売店であれば修理、再購入の場合、保証が受けられる。震災等で販売店が修理を受けられない際、近隣の会員の援助あった場合サービスを受けられる。保証料負担が誰かは選べる。耐震は申告によるもの。耐震施行有は写真等の撮影が必要。リフォームは資料P57①、②をクリアした物。P58以降のようなマニュアルをつくる。  
佐野：墓石保障に関しては1年以上かけ、使いやすいものとなっている。次回理事会でも報告し、11月くらいから募集予定。
- (6) 【関連】ストアシスト in OSAKA 開催について 11/23～24 ツイン 21MID ター 竹ノ内部会長 資料 P61  
竹ノ内：近畿地区会議との相乗効果を期待している。現在出展は22社集まっている。30社目標。勉強会、セミナーも開催する予定。是非、参加をしてください。
- (7) 【関連】シナリオ・プランニングのプロジェクト中間報告 竹ノ内部会長 資料 P63  
竹ノ内：石材業の未来のシナリオを作り、次にどうするのかを考え、来年の総会で発表したいと思う。過程の中で地区、支部、青年部と一緒に10年後のことを考える場があればと思う。  
協力いただける スタイリッシュアイディア 新井氏・イノベーション・ファシリテーターキャリアカウンセラー 竹本氏紹介
- (8) 【広報】お墓参りの日 2016 について 上野委員長 資料 P65  
上野：会員へポスターを配布し、全優石・全石協も使用することとなった。来年に向けてのポスターを企画し、来年に向けてアンケートを行う予定。
- (9) 【広報】はかまどトピックスについて 上野委員長 資料 P67  
上野：お墓のキーワード。検索順位が上がるように引き続き行っていきたい。成績表を提出したいと思う。
- (10) 【広報】ENDEX 2016 について 上野委員長 資料 P69  
上野：今、ENDEX 2016 現在おこなっている。昨日の来場者は4305名であった。石産協ブースでは石工男子総選挙を行っている。
- (11) 【次世代】若手石材人 MAGAZINE vol.2 決算報告 山口委員長 資料 P71  
山口：会員からよかったとの声がきけた。効果があったと思う。
- (12) 【次世代】全国石材青年部長・役員サミット 決算報告 山口委員長 資料 P74  
山口：取り組みを共有。谷本氏の講演を行い、学びがあったと思う。参加者からも好評であった。
- (13) 【次世代】第13回庵治 SF 青年部交流会後援について 決算報告 山口委員長 資料 P76  
山口：石材産業協会のPRをした。少しずつ取り組みが広がっていると思う。成果が残せるようにしたい。  
森田：会員拡大にはなかなか繋がらないが、継続して行うことによって成果を上げたいと思う。
- (14) 【顧客満足推進】顧客向け広報誌「いしずえ（仮称）」制作代行について 能島委員長 資料 P78  
能島：石産協オリジナルの広報誌と年賀状の提案。お墓離れを食い止めるために考案。はがきとニュースレターとなる。  
キンメイ印刷：既存のお客様との信頼感を結ぶためにいしずえを使って頂ければと思う。お客様の困りごとを気軽に相談できる物になればと思う。年4回発行だが、必要な回数に応じての注文が出来る。顧客満足推進委員会監修。発送の代行も行う。初回発行は来年一月予定。募集は9月石産協通信に同封。  
福川：機関誌の発行時期はいつになるのか？  
キンメイ印刷：年4回3カ月ごとの発行なので、1月、4月、7月、10月の手元に届くのは1月中旬頃。
- (15) 【顧客満足推進】オリジナル年賀はがき作成について 能島委員長 資料 P79  
キンメイ印刷：さりげなく、確実に石材店らしさを伝えるご挨拶の年賀状を用意した。販売数に応じて協会の方にキックバックする。  
能島：9月の石産協通信の際に募集用紙を同封。  
能島：年賀はがきはデータでの提供は可能。1データ8000円+税



## 2016年度 第1回 常任理事会議事録

柴田：市販と変化がない。石をテーマにしたもの。石産協に加盟をアピールするものが良いと思う。

(16) 採石法施工業務研修について 友常副会長 資料 P80

友常：資源エネルギー庁にて、経済産業局及び都道府県地方自治体の採石担当職員向けに、採石の現状と問題点について業界を代表して講義を太田元氏が行い参加した。

(17) 調査依頼に関する費用規定について 大代専務 資料 P82

大代：依頼者から一定の費用をもらい、一定の費用を調査担当者（会員）に支払う。

(18) 理事就任承諾書について 大代専務 資料 P86

大代：理事承諾書を一部削除にて提出が4名あった。

(19) 建築石材アドバイザー試験について 10/1 実施（受験要項全会員に配布済） 大代専務 資料なし

大代：7/15 石産協通信に同封済。

(20) ジャパンストーンショー2017について 射場会長 パンフレット

射場：2017年8月23日～25日行う。現在行われているエンディング産業展と空き家対策同時開催。出展に関して、会員企業は割引がある。

大代：本日、常任終了後、エンディング産業展主催者と覚書・契約書の内容について精査する。合意に至れば契約書を交わす予定。基本的には実行委員会を立ち上げ、多くの出展社を募りたいと思う。実行委員長は井口直前。委員には各部会長が来ていただければと思う。

### チェックアウト（グループ内感想、発表）

### 監事講評

斎藤：有意義な会議だったと思う。熊本支援に行かれた方々ご苦労さまでした。

伯井：具体的な話が出来るようになった。会議の内容に周知が集まるようになったと思う。

戸部法律顧問：協会自体の発展から見ると、いろいろな事業が各会員の事業の発展に直結する。次年度ジャパンストーンショー等これからの協会活動をできるだけ応援したいと思う。活発な活動を祈念する。

中江顧問：グループ討議は具体的な話が細かく出来るということは、前進につながると思う。皆さまを顧問として見守りたい。

2016年8月23日

議事録署名人： 菊地善孝 ⑩

議事録署名人： 望月威男 ⑩

議事録署名人： 齋藤勝實 ⑩

議 長： 白木秀典

議事録作成人： 事務局 中村 早苗